



8月1日 木曜日

発行所(〒371-8666) 前橋市古市町1-50-21 上毛新聞社 (総合)027-254-9911 (編集)027-254-9933 (広告)027-254-9944 (販売)027-254-3131 (事業)027-254-9955 ©上毛新聞社 2013年

# 歴史文化で魅力創造

## 観光振興へ「6次産業化」

### 前橋市10PT

前橋市は本年度から、歴史と文化を活用したブランド力向上、観光振興に乗り出す。1日に有識者らでつくる歴史遺産活用委員会を発足。同時に製糸業で栄えた歴史や食文化など10分野のプロシエクトチーム(P.T.)を編成し、来年度にもゆかりの都市との交流、B級グルメの創造など具体的な事業に着手する。県都の「遺産」を農業や商工業と結び付けて新たな魅力を生み出す「文化の6次産業化」で観光客の増加を図る。

引で縁の深い横浜市、楯取素彦県令の出生地である山口県萩市、歴代前橋藩主の転封先である愛知県犬山市

や兵庫東姫路市、松平家ゆかりの埼玉県川越市を候補に、参加を呼び掛けている。各都市の名宝展示や物産販売を中心市街地で行い、活性化につなげる。交流する都市にも前橋の歴史文化や物産をPRする考え。

- ▶ 刀剣・甲冑 前橋市内外に伝来する刀剣・甲冑の調査活用
- ▶ 前橋藩主松平家 松平家に関する遺産の調査活用、埼玉県川越市との交流
- ▶ レンガ・シルク遺産 絹遺産の調査活用、富岡製糸場と絹産業遺産群との連携
- ▶ 戦争・平和遺産 戦争遺産の調査活用
- ▶ オール前橋食文化 「初代佐渡ヶ嶽ちゃんこ鍋」調査、B級グルメ開発
- ▶ 楯取素彦県令と下村善太郎ら近代前橋建設功労者 関連資料の調査活用、山口県萩市との交流
- ▶ 台湾で敬愛されている上州人 羽鳥又男・重郎らに関する資料の調査活用、台湾との交流
- ▶ 文化人バンク 文化人の人材バンク創設、クラシック音楽祭開催
- ▶ 中世石造物 「板碑」など中世石造物の調査活用
- ▶ 剣聖・剣豪 上泉伊勢守ら剣聖・剣豪を顕彰するサミット開催

歴史遺産活用委員会 プロシエクトチーム

P.T.は専門家や有識者ら約30人で構成。伝来する刀剣・甲冑の調査活用、れんが倉庫や絹遺産の活用、戦時中の資料の調査、佐渡ヶ嶽部屋初代年寄・佐渡ヶ嶽沢右衛門にちなんだちゃんこ鍋など食文化の発掘、剣術「新陰流」を興した上

泉伊勢守らを顕彰するサミット開催などに取り組んでいく。P.T.はテーマに基づいて調査したり、アイデアを出しながら、同市の新たな魅力の発掘、観光資源としての可能性を探る。来年度からの実施を目指す都市間交流では、生糸取

寄贈・寄託資料の積極的な受け入れを想定。制定準備を進めている文化振興条例と合わせ、一体的な文化政策に取り組んでいく。一連の活動は共愛学園前橋国際大との官学連携事業として実施。委員会との共同委員長には同大の大森昭生副学長、手島仁・市文化国際課副参事(元県立歴史博物館学芸員)が就任する予定。

このほか、絹遺産や平和遺産などの歴史や背景を記した標識、回遊を促す案内の設置、遺産リストの作成、

手島副参事は「これからは文化が地域活性化の原動力になる時代。前橋やほかの都市の宝を中心街に集めて人を呼び込み、市内全域へ回遊してもらう仕組みをつくり、観光振興に役立てたい」と話している。市によると、2011年度の観光入り込み客数は591万7千人。歴史や文化を活用した観光振興策などを通じ、17年度の客数を700万人とする目標を掲げ、「前橋観光」の定着や知名度向上を目指している。